

## インタビュー研究ご協力をお願い

財団法人パブリックヘルスリサーチセンター  
JPOP (Japan Public Outreach Program) 委員会  
代表 大橋靖雄 (東京大学大学院医学系研究科教授)

### 依頼趣旨

財団法人パブリックヘルスリサーチセンターの JPOP® (Japan Public Outreach Program) は、一般国民、患者、医療関係者に向けた「正しい医療情報の発信」に取り組んでいます。その活動のひとつとして今回、統合失調症を含む精神障害を体験された方(一時的に統合失調症様の症状を呈したために治療を受けた方を含む)やそのご家族の方を対象に、ご自身の体験をお聞きするインタビュー調査(JPOP-VOICE[統合失調症を含む精神障害]研究)を行うこととなりました。インタビューの中でうかがった内容は、逐語録をもとにキーワードを分類していく質的分析という手法を用いて整理をいたします。この研究は、体験者の方の視点や体験に重きを置いた、近年注目されている重要な研究です。

また、体験者の方の視点に基づくこの研究の成果を、広く国民の皆様に発信することは、同じ体験をされている方の不安が少しでも取り除かれ、病気と向き合う励みとなったり、より多くの方に統合失調症を含む精神障害に対する理解を深めていただいたりする上で、たいへん役立つ資料となります。JPOP®では、ウェブサイト「JPOP-VOICE 体験者・医療者からのメッセージ」(<http://jpop-voice.jp/>)を2007年10月に開設し、がんの体験者・医療者の声を動画、音声、文字等でお届けしております。今回の研究成果も、このウェブサイトを通じて広く発信したいと考えています。

以下の「インタビューについてのご説明」をお読みいただき、本研究の趣旨にご賛同をいただける場合には、ぜひご協力をいただけますと幸いです。音声のみ、もしくはテキストのみの掲載をご希望の場合も、ご相談に応じます。

### お問い合わせ先

住所： 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 11-7 ライフサイエンス出版  
JPOP-VOICE 編集部 宛 (担当: 毛利、古橋)  
電話： 03-3664-7900 (代表)  
ファックス： 03-3664-7734  
Eメール： [jpop@lifescience.co.jp](mailto:jpop@lifescience.co.jp)

## インタビューについてのご説明

ご協力をお願いしたい方々

以下の条件に該当する16歳以上の方約50名(但し、研究期間を延長する場合には、人数も増える可能性があります。)

統合失調症を含む精神病性障害を体験された方

統合失調症の診断は受けていないが、一時的に統合失調症様の症状を呈して、治療を受けた経験をお持ちの方も含まれます。

なお、16歳以上20歳未満の方にご協力いただく場合には、ご本人だけでなく、親権者またはこれに準じる方からもご同意をいただくことになります。

### 調査の概要

期間: 平成21年4月1日～平成27年3月31日(但し、この研究は、より多くの方の声を抽出することを目的としていることから、研究期間を延長する可能性があります。)

形式: 調査員によるインタビュー調査

所要時間: 1～1時間半程度

日時と場所: ご協力いただける方のご都合に合うよう調整

### インタビューで伺いたいこと

#### (1) ご自身のこと

誕生年、家族構成について

お住まいとお仕事について(働いていない場合、就労への希望)

#### (2) 現在までの治療の経緯

どのような経緯で精神科を受診されたのか

初診年、初診時の症状、受診を勧めてくれた人、統合失調症について受診する前に得ていた情報(その情報の入手先も)

その他、病院の情報の入手先、治療法の情報の入手先、一番役立った情報、受診前後の医療体制、福祉制度に対する満足や不満

これまでにどのような治療を受けられたのか

治療の内容、治療法に関して得た情報(入手先や得た情報への評価も) 服用している薬、薬との相性

その他、治療の生活への影響、治療中、つらかったこと、治療中、役立ったことや心の支えになったこと

(3) 現在の生活

現在のお仕事について

発症・治療による仕事の変化、働く上で工夫していること、気をつけていること

現在はどのくらいの頻度で通院しているのか

現在利用している福祉サービス

お仕事や通院、福祉サービスの利用がないときの過ごし方

普段、症状が悪化しないよう工夫していること、気をつけていること

(5) 体験者として、患者さんやご家族へのメッセージ

(6) 体験者として、医療従事者や医療体制に対するメッセージ

(7) 今回のインタビューを受けようと思われた理由

インタビューにおける注意事項

(1) このインタビューへの協力は、自由意思にもとづきます。協力しないことで、不利益を被ることは一切ありません。

(2) インタビューに応じた場合でも、答えたくない質問を拒否したり、途中でインタビューをとりやめたりすることができます。それによって不利益を被ることは一切ありません。

(3) インタビューの中で語られた内容は、そのインタビューにご協力いただいた方にご同意いただける範囲内（実名/匿名、映像/音声/テキストのみ）で、ウェブサイト「JPOP-VOICE 体験者・医療者からのメッセージ」(<http://jpop-voice.jp/>)上への掲載か、学術雑誌などへの発表のいずれか、あるいはその両者を予定しています。

(4) ウェブサイトに実名を掲載するか否かは、ご協力いただく方を選んでいただくことができます。実名を掲載させていただく場合、当研究班として最大限のセキュリティ技術を講じますが、一旦ウェブサイトに掲載されると他者に非公式に録音・録画される可能性があります。

また、匿名での掲載を希望された場合、当研究班として、ご氏名、ご住所、ご職業を伏せるなど個人が特定されないよう最大限に配慮して掲載させていただきますが、お話の内容から協力された方が特定される可能性は否定できません。また、上記のように、一旦ウェブサイトに掲載されると他者に非公式に録音・録画される可能性や、掲載された内容に対して、視聴者からの問い合わせや、場合によっては苦情などが寄せられる可能性もあります。当研究班に寄せられた問い合わせに対しては、当研究班が可能な限り責任を持って対応いたしますが、個人が特定された場合には、当研究班を介さず直接問い合わせが寄せられる可能性があります。その際には、お気軽に当研究班までご相談ください。

- (5) インタビューは、録画、あるいは録音をさせていただければ幸いです。ただし、録画・録音は断ることができ、それによって不利益を被ることは一切ありません。許可をいただいて録画・録音したテープから、テープ起こしを経てインタビュー内容のワープロ文書を作成しますが、ワープロ文書からは個人のお名前や病院名など、前項(3)で実名掲載のご了解をいただいたインタビュー協力者のお名前を除き、全て削除いたします。
- (6) 後日、必要に応じて再インタビューをお願いする場合があります。ただし、再インタビューへの協力は断ることができ、それによって一切不利益は被りません。
- (7) 録画・録音テープとワープロ文書は、施錠された別々の保管庫に保管されます。保管庫の鍵は事業代表者の責任の下で管理を行い、個人情報 JPOP-VOICE 研究班メンバー以外に漏洩することはありません。
- (8) 収録物の著作権および編集権は、財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会に帰属します。ただし、インタビューにご協力いただいた方から、ご自身の発言内容について動画や音声の削除・修正のご希望があった場合には、ご希望に基づき随時対応いたします。
- (9) 収録した動画、録音などは、JPOP-VOICE 研究班が医学的、科学的、倫理的見地からその妥当性を厳密に検証し、それに基づいて編集を行います。本研究実施上の倫理的な配慮につきましては、パブリックヘルスリサーチセンターと東京都立松沢病院の倫理委員会での審査を経て、承認を得ております。

#### インタビューの手順

- (1) 直接のご応募または患者会等を通じたご依頼
- (2) インタビュー収録内容・収録日時・収録場所のお打合せ
- (3) インタビュー収録
- (4) インタビュー内容の分析
- (5) 分析に基づいた映像・音声・テキストの編集
- (6) 編集された映像・音声・テキストのご確認と必要に応じた修正
- (7) 編集後、ご同意をいただいた範囲で JPOP-VOICE ウェブサイト上に動画・音声・テキストを掲載、学術雑誌などへ発表

#### その他

インタビューにご協力くださいました皆様には、御礼として 20,000 円をお渡しいたします。その他、JPOP-VOICE についてご質問等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

研究班( : 代表者)	
大橋 靖雄	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会 代表 東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻生物統計学分野 教授
岡崎 祐士	東京都立松沢病院 院長 日本統合失調症学会 理事長
針間 博彦	東京都立松沢病院 精神科医長
伊勢田 堯	医療法人財団 東京勤労者医療会 代々木病院 精神科
宮田 裕章	東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座 准教授
吉江 悟	東京大学大学院医学系研究科 GCOE 拠点 次世代型生命・医療倫理の教育研究拠点創成 特任助教
大久保 豪	東京大学大学院医学系研究科 老年社会科学分野 特任研究員
武原 信正	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会 実行委員長 ライフサイエンス出版株式会社 代表取締役社長
毛利 公子	ライフサイエンス出版株式会社 編集部 次長
古橋 久乃	ライフサイエンス出版株式会社 編集部 編集者

## インタビュー研究ご協力をお願い

財団法人パブリックヘルスリサーチセンター  
JPOP (Japan Public Outreach Program) 委員会  
代表 大橋靖雄 (東京大学大学院医学系研究科教授)

### 依頼趣旨

財団法人パブリックヘルスリサーチセンターの JPOP® (Japan Public Outreach Program) は、一般国民、患者、医療関係者に向けた「正しい医療情報の発信」に取り組んでいます。その活動のひとつとして今回、統合失調症を含む精神障害を体験された方(一時的に統合失調症様の症状を呈したために治療を受けた方を含む)やそのご家族の方を対象に、ご自身の体験をお聞きするインタビュー調査(JPOP-VOICE[統合失調症を含む精神障害]研究)を行うこととなりました。インタビューの中でうかがった内容は、逐語録をもとにキーワードを分類していく質的分析という手法を用いて整理をいたします。この研究は、体験者の方の視点や体験に重きを置いた、近年注目されている重要な研究です。

また、体験者の方の視点に基づくこの研究の成果を、広く国民の皆様に発信することは、同じ体験をされている方の不安が少しでも取り除かれ、病気と向き合う励みとなったり、より多くの方に統合失調症を含む精神障害に対する理解を深めていただいたりする上で、たいへん役立つ資料となります。JPOP®では、ウェブサイト「JPOP-VOICE 体験者・医療者からのメッセージ」(<http://jpop-voice.jp/>)を2007年10月に開設し、がんの体験者・医療者の声を動画、音声、文字等でお届けしております。今回の研究成果も、このウェブサイトを通じて広く発信したいと考えています。

以下の「インタビューについてのご説明」をお読みいただき、本研究の趣旨にご賛同をいただける場合には、ぜひご協力をいただけますと幸いです。音声のみ、もしくはテキストのみの掲載をご希望の場合も、ご相談に応じます。

### お問い合わせ先

住所： 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 11-7 ライフサイエンス出版  
JPOP-VOICE 編集部 宛 (担当: 毛利、古橋)  
電話： 03-3664-7900 (代表)  
ファックス： 03-3664-7734  
Eメール： [jpop@lifescience.co.jp](mailto:jpop@lifescience.co.jp)

## インタビューについてのご説明

ご協力をお願いしたい方々

以下の条件に該当する 16 歳以上の方、約 50 名 ( 但し、研究期間を延長する場合には、人数も増える可能性があります。 )

統合失調症を含む精神病性障害を体験された方のご家族

統合失調症の診断は受けていないが、一時的に統合失調症様の症状を呈して、治療を受けた経験をお持ちの方も含みます。

なお、16 歳以上 20 歳未満の方にご協力いただく場合には、ご本人だけでなく、親権者またはこれに準じる方からもご同意をいただくことになります。

調査の概要

期間: 平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日 ( 但し、この研究は、より多くの方の声を抽出することを目的としていることから、研究期間を延長する可能性があります。 )

形式: 調査員によるインタビュー調査

所要時間: 1 ~ 1 時間半程度

日時と場所: ご協力いただける方のご都合に合うよう調整

インタビューで伺いたいこと

(1) ご協力をいただく方のプロフィール

ご誕生年

ご職業

ご家族の構成

(2) 統合失調症を含む精神病性障害を体験された方のプロフィール

ご誕生年

ご職業

当該疾患や精神病状態を理由に医療機関を受診した年

現在までの治療経緯

居住形態 ( 単身、家族と同居、グループホーム入居など )、就労の有無

(3) 精神科の受診について

最初に精神科を受診されたときの症状

最初に精神科の受診に至るまでの経緯

病気、病院、治療などについての情報や助言をどのように入手されたか

そのうち一番役立ったのは誰から、どこからの情報だったか  
受診する病院を決めた決め手 ( 掲載時は病院名を伏せさせていただきます )  
金銭的なこと、家族・友人のこと、仕事のこと、日常生活のことなど、受診前後の  
時期に

気になっていたこと

受診前後で、医療体制や福祉制度についてここがこうだったらいいなと思ったこと

#### (4) 治療について

これまでに受けた治療の内容

治療法についての情報や助言はどのように入手されたか

そのうち一番役立ったのは誰から、どこからの情報だったか

どのようなときに治療による変化を感じるか ( 副作用も含む )

治療開始後に症状が悪化した経験はあるか

症状が悪化したとき、どのように対応されたか

治療に役立ったことや心の慰めになったこと ( もの、人など )

病気または治療の影響で、現在、日常生活上不便を感じていること

#### (5) 現在の生活について

疾患を通して生活スタイルはどのように変わったか

近所付き合い、友人・知人との付き合いで気をつけていること

日常的に何か福祉サービスを利用しているか

( 利用している場合 ) そのサービスに対して満足しているか、どのような点に満足しているか、不満があるとしたら何か

( 利用していない場合 ) なぜサービスを利用しないのか、あったら利用したいと思うサービスはあるか、その内容は

症状が悪化しないよう工夫していること

症状が悪化した場合の対応

病気にまつわることで、今知りたい情報など

金銭的なこと、家族・友人のこと、仕事のこと、住居のこと、日常生活のことなど、今、気になっていること

現在の医療体制や福祉制度について、ここがこうだったらいいなと思うこと

#### (6) 他者とのコミュニケーションについて

医師、看護師などとのコミュニケーションで、説明が少ない、気持ちが分かってもらえないなど困った経験

医師、看護師などとのコミュニケーションで、役立ったこと、うれしかったこと

医師や看護師などとのコミュニケーションで、留意したこと、心がけたこと

他のご家族やご親戚とのかかわりで、役立ったこと、うれしかったこと

他のご家族やご親戚とのかかわりで、留意したこと、心がけたこと

同じご家族同士でとられたコミュニケーション



(7) その他

体験者のご家族として、患者さんやご家族へのメッセージ

体験者のご家族として、医療従事者や医療体制に対するメッセージ

インタビューにおける注意事項

- (1) このインタビューへの協力は、自由意思にもとづきます。協力しないことで、不利益を被ることは一切ありません。
- (2) インタビューに応じた場合でも、答えたくない質問を拒否したり、途中でインタビューをとりやめたりすることができます。それによって不利益を被ることは一切ありません。
- (3) インタビューの中で語られた内容は、そのインタビューにご協力いただいた方にご同意いただける範囲内（実名 / 匿名、映像 / 音声 / テキストのみ）で、ウェブサイト「JPOP-VOICE 体験者・医療者からのメッセージ」(<http://jpop-voice.jp/>)上への掲載か、学術雑誌などへの発表のいずれか、あるいはその両者を予定しています。
- (4) ウェブサイトに実名を掲載するか否かは、ご協力いただく方に選んでいただくことができます。実名を掲載させていただく場合、当研究班として最大限のセキュリティ技術を講じますが、一旦ウェブサイトに掲載されると他者に非公式に録音・録画される可能性があります。  
また、匿名での掲載を希望された場合、当研究班として、ご氏名、ご住所、ご職業を伏せるなど個人が特定されないよう最大限に配慮して掲載させていただきますが、お話の内容から協力された方が特定される可能性は否定できません。また、上記のように、一旦ウェブサイトに掲載されると他者に非公式に録音・録画される可能性や、掲載された内容に対して、視聴者からの問い合わせや、場合によっては苦情などが寄せられる可能性もあります。当研究班に寄せられた問い合わせに対しては、当研究班が可能な限り責任を持って対応いたしますが、個人が特定された場合には、当研究班を介さず直接問い合わせが寄せられる可能性があります。その際には、お気軽に当研究班までご相談ください。
- (5) インタビューは、録画、あるいは録音をさせていただければ幸いです。ただし、録画・録音は断ることができ、それによって不利益を被ることは一切ありません。許可をいただいで録画・録音したテープから、テープ起こしを経てインタビュー内容のワープロ文書を作成しますが、ワープロ文書からは個人のお名前や病院名など、前項(3)で実名掲載のご了解をいただいたインタビュー協力者のお名前を除き、全て削除いたします。
- (6) 後日、必要に応じて再インタビューをお願いする場合があります。ただし、再インタ

ビューへの協力は断ることができ、それによって一切不利益は被りません。

- (7) 録画・録音テープとワープロ文書は、施錠された別々の保管庫に保管されます。保管庫の鍵は事業代表者の責任の下で管理を行い、個人情報 JPOP-VOICE 研究班メンバー以外に漏洩することはありません。
- (8) 収録物の著作権および編集権は、財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会に帰属します。ただし、インタビューにご協力いただいた方から、ご自身の発言内容について動画や音声の削除・修正のご希望があった場合には、ご希望に基づき随時対応いたします。
- (9) 収録した動画、録音などは、JPOP-VOICE 研究班が医学的、科学的、倫理的見地からその妥当性を厳密に検証し、それに基づいて編集を行います。本研究実施上の倫理的な配慮につきましては、パブリックヘルスリサーチセンターと東京都立松沢病院の倫理委員会での審査を経て、承認を得ております。

#### インタビューの手順

- (1) 直接のご応募または患者会等を通じたご依頼
- (2) インタビュー収録内容・収録日時・収録場所のお打合せ
- (3) インタビュー収録
- (4) インタビュー内容の分析
- (5) 分析に基づいた映像・音声・テキストの編集
- (6) 編集された映像・音声・テキストのご確認と必要に応じた修正
- (7) 編集後、ご同意をいただいた範囲で JPOP-VOICE ウェブサイト上に動画・音声・テキストを掲載、学術雑誌などへ発表

#### その他

インタビューにご協力くださいました皆様には、御礼として 20,000 円をお渡しいたします。その他、JPOP-VOICE についてご質問等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

#### 研究班（：代表者）

大橋 靖雄	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会 代表 東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻生物統計学分野 教授
岡崎 祐士	東京都立松沢病院 院長 日本統合失調症学会 理事長
針間 博彦	東京都立松沢病院 精神科医長
伊勢田 堯	医療法人財団 東京勤労者医療会 代々木病院 精神科
宮田 裕章	東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座 准教授
吉江 悟	東京大学大学院医学系研究科 GCOE 拠点

(家族向けインタビュー説明文書 第3版 平成22年5月11日作成)

大久保 豪	次世代型生命・医療倫理の教育研究拠点創成 特任助教
武原 信正	東京大学大学院医学系研究科 老年社会科学分野 特任研究員
	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会 実行委員長
	ライフサイエンス出版株式会社 代表取締役社長
毛利 公子	ライフサイエンス出版株式会社 編集部 次長
古橋 久乃	ライフサイエンス出版株式会社 編集部 編集者

## インタビュー研究ご協力のお願い

財団法人パブリックヘルスリサーチセンター  
JPOP (Japan Public Outreach Program) 委員会  
代表 大橋靖雄 (東京大学大学院医学系研究科教授)

### 依頼趣旨

財団法人パブリックヘルスリサーチセンターの JPOP® (Japan Public Outreach Program) は、一般国民、患者、医療関係者に向けた「正しい医療情報の発信」に取り組んでいます。その活動のひとつとして今回、統合失調症を含む精神障害を体験された方 (一時的に統合失調症様の症状を呈したために治療を受けた方を含む) やそのご家族の方を対象に、ご自身の体験をお聞きするインタビュー調査 (JPOP-VOICE [統合失調症を含む精神障害] 研究) を行うこととなりました。インタビューの中でうかがった内容は、逐語録をもとにキーワードを分類していく質的分析という手法を用いて整理をいたします。この研究は、体験者の方の視点や体験に重きを置いた、近年注目されている重要な研究です。

また、体験者の方の視点に基づくこの研究の成果を、広く国民の皆様に発信することは、同じ体験をされている方の不安が少しでも取り除かれ、病気と向き合う励みとなったり、より多くの方に統合失調症を含む精神障害に対する理解を深めていただいたりする上で、たいへん役立つ資料となります。JPOP®では、ウェブサイト「JPOP-VOICE 体験者・医療者からのメッセージ」(<http://jpop-voice.jp/>) を2007年10月に開設し、がんの体験者・医療者の声を動画、音声、文字等でお届けしております。今回の研究成果も、このウェブサイトを通じて広く発信したいと考えています。

以下の「インタビューについてのご説明」をお読みいただき、本研究の趣旨にご賛同をいただける場合には、ぜひご協力をいただけますと幸いです。音声のみ、もしくはテキストのみの掲載をご希望の場合も、ご相談に応じます。

### お問い合わせ先

住所： 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 11-7 ライフサイエンス出版  
JPOP-VOICE 編集部 宛 (担当: 毛利、古橋)  
電話： 03-3664-7900 (代表)  
ファックス： 03-3664-7734  
Eメール： [jpop@lifescience.co.jp](mailto:jpop@lifescience.co.jp)

## インタビューについてのご説明

ご協力をお願いしたい方々

以下の条件に該当する16歳以上の方、約50名(但し、研究期間を延長する場合には、人数も増える可能性があります。)

統合失調症を含む精神病性障害を体験された方のご家族

統合失調症の診断は受けていないが、一時的に統合失調症様の症状を呈して、治療を受けた経験をお持ちの方も含みます。

なお、16歳以上20歳未満の方にご協力いただく場合には、ご本人だけでなく、親権者またはこれに準じる方からもご同意をいただくことになります。

調査の概要

期間: 平成21年4月1日～平成27年3月31日(但し、この研究は、より多くの方の声を抽出することを目的としていることから、研究期間を延長する可能性があります。)

形式: 調査員によるインタビュー調査

所要時間: 1～1時間半程度

日時と場所: ご協力いただける方のご都合に合うよう調整

インタビューで伺いたいこと

(1) プロフィール

ご誕生年

ご職業

現在までのご経歴

(2) 統合失調症を含む精神病状態に対する治療について

急性期の患者・家族に接したり、治療したりする上で重視していること

慢性期の患者・家族に接したり、治療したりする上で重視していること

その他、早期発見や診断・治療・リハビリテーション・生活支援で重視していること

と

(3) 患者さんやご家族とのコミュニケーションについて

患者・家族とのコミュニケーションで留意していること、心がけていること

患者・家族とのコミュニケーションで難しいと思うこと

情報提供のスタンス

患者さんやご家族がより納得できる意思決定を支援するための工夫、心がけていること

## こと

### (4) 統合失調症を含む精神病状態に関する知識の普及について

現在、取り組んでいらっしゃること  
特に重要であると思われる内容

### (5) その他

医療従事者として、現在統合失調症を含む精神病状態と向き合っている患者さんやご家族へのアドバイス、メッセージ  
医療従事者として、医療従事者や医療体制に対するメッセージ

#### このインタビューにおける倫理的配慮を含む説明事項

- (1) このインタビューへの協力は、自由意思にもとづきます。協力しないことで、不利益を被ることは一切ありません。
- (2) インタビューに応じた場合でも、答えたくない質問を拒否したり、途中でインタビューをとりやめたりすることができます。それによって不利益を被ることは一切ありません。
- (3) インタビューの中で語られた内容は、そのインタビューにご協力いただいた方にご同意いただける範囲内（実名／匿名、映像／音声／テキストのみ）で、ウェブサイト「JPOP-VOICE 体験者・医療者からのメッセージ」(<http://jpop-voice.jp/>)上への掲載か、学術雑誌などへの発表のいずれか、あるいはその両者を予定しています。
- (4) ウェブサイトに実名を掲載するか否かは、ご協力いただく方に選んでいただくことができます。実名を掲載させていただく場合、当研究班として最大限のセキュリティ技術を講じますが、一旦ウェブサイトに掲載されると他者に非公式に録音・録画される可能性があります。  
また、匿名での掲載を希望された場合、当研究班として、ご氏名、ご住所、ご職業を伏せるなど個人が特定されないよう最大限に配慮して掲載させていただきますが、お話の内容から協力された方が特定される可能性は否定できません。また、上記のように、一旦ウェブサイトに掲載されると他者に非公式に録音・録画される可能性や、掲載された内容に対して、視聴者からの問い合わせや、場合によっては苦情などが寄せられる可能性もあります。当研究班に寄せられた問い合わせに対しては、当研究班が可能な限り責任を持って対応いたしますが、個人が特定された場合には、当研究班を介さず直接問い合わせが寄せられる可能性があります。その際には、お気軽に当研究班までご相談ください。
- (5) インタビューは、録画、あるいは録音をさせていただければ幸いです。ただし、録画・録音は断ることができ、それによって不利益を被ることは一切ありません。許可をい

ただいて録画・録音したテープから、テープ起こしを経てインタビュー内容のワープロ文書を作成しますが、ワープロ文書からは個人のお名前や病院名など、前項(3)で実名掲載のご了解をいただいたインタビュー協力者のお名前を除き、全て削除いたします。

- (6) 後日、必要に応じて再インタビューをお願いする場合があります。ただし、再インタビューへの協力は断ることができ、それによって一切不利益は被りません。
- (7) 録画・録音テープとワープロ文書は、施錠された別々の保管庫に保管されます。保管庫の鍵は事業代表者の責任の下で管理を行い、個人情報 JPOP-VOICE 研究班メンバー以外に漏洩することはありません。
- (8) 収録物の著作権および編集権は、財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会に帰属します。ただし、インタビューにご協力いただいた方より、ご自身の発言内容について、動画や音声の削除・修正のご希望があった場合には、ご希望に基づき随時対応いたします。
- (9) 収録した動画、録音などは、JPOP-VOICE 研究班が医学的、科学的、倫理的見地からその妥当性を厳密に検証し、それに基づいて編集を行います。本研究実施上の倫理的な配慮につきましては、パブリックヘルスリサーチセンターと東京都立松沢病院の倫理委員会での審査を経て、承認を得ております。

#### インタビューの手順

- (1) 直接のご応募または患者会等を通じたご依頼
- (2) インタビュー収録内容・収録日時・収録場所のお打合せ
- (3) インタビュー収録
- (4) インタビュー内容の分析
- (5) 分析に基づいた映像・音声・テキストの編集
- (6) 編集された映像・音声・テキストのご確認と必要に応じた修正
- (7) 編集後、ご同意をいただいた範囲で JPOP-VOICE ウェブサイト上に動画・音声・テキストを掲載、学術雑誌などへ発表

#### その他

インタビューにご協力くださいました皆様には、御礼として 20,000 円をお渡しいたします。その他、JPOP-VOICE についてご質問等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

研究班( : 代表者)

大橋 靖雄 財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会 代表  
東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻生物統計学分野 教授

岡崎 祐士	東京都立松沢病院 院長 日本統合失調症学会 理事長
針間 博彦	東京都立松沢病院 精神科医長
伊勢田 堯	医療法人財団 東京勤労者医療会 代々木病院 精神科
宮田 裕章	東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座 准教授
吉江 悟	東京大学大学院医学系研究科 GCOE 拠点 次世代型生命・医療倫理の教育研究拠点創成 特任助教
大久保 豪	東京大学大学院医学系研究科 老年社会科学分野 特任研究員
武原 信正	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会 実行委員長 ライフサイエンス出版株式会社 代表取締役社長
毛利 公子	ライフサイエンス出版株式会社 編集部 次長
古橋 久乃	ライフサイエンス出版株式会社 編集部 編集者